

第3学年 特別の教科 道徳学習指導案

1 主題名 思いやりの心（B親切、思いやり）

（教材名：いちばんうれしいこと 出典：生きる力3【日本文教出版】）

2 目標

思いやりの心は相手の気持ちを自分のことのように考えようとするとところから生まれていることや、その喜びに気付く、自分も思いやりの心を発揮していこうとする心情を育てる。

3 授業計画

【学習前の児童の姿】

本学級の子どもたちは、男女の仲もよく、休み時間には男女ともに運動場へ駆け出して遊んだり、教室で話をしたりする姿が見られる。また、友達が困っていれば自分から声をかけ、助けようと行動できる子が多い。しかし、時に、相手の思いに寄り添った手助けではなく、押し付けや決め付けなど自分本位の考えのもとに行動してしまい、相手に嫌な思いをさせてしまうことがある。この教材を通して、「きっとこうしてほしいはずだ」という考えからではなく、「自分だったらこうしてほしいな」「友達はこうしてほしいのかな」など、相手の気持ちを考えようとすることが「相手を思いやる」ということにつながることを理解させたい。そして、相手を思いやって行動することは自分の喜びにつながるということを理解させたい。

〈教材のこんな魅力〉【1時間完了】

- ・本教材では、長く国民から愛される「アンパンマン」の作者であるやなせたかしさんについて描いた資料であるため、子どもたちにとって内容に没入しやすい資料である。
- ・やなせさんの言葉である「人は人を喜ばせることが一番うれしい。」という言葉から、どうして人を喜ばせることが自分の喜びになるのかを考えさせたい。また、自分のことは二の次にして、人を助けようとするアンパンマンの姿からも、本当の思いやりについて考えさせたい。

〈こんな手だてで〉

- ・なぜ最初のころのアンパンマンのマントはつぎはぎだらけでボロボロなのかを考えることで、自分のことよりも他人を優先するアンパンマンの姿に気付かせ、喜ぶ姿を見ることこそが、アンパンマンの喜びにつながっていることを感じ取らせたい。
- ・やなせさんの言葉である「人は人を喜ばせることが一番うれしい」のはどうしてか、その理由を考えることで、困っている人が笑顔になれば自分もうれしい、その思いやりはつながっていくことに気付くことができるようにする。

【学習後の児童に期待する姿】

- ・困っている相手が本当にしてほしいことは何かを考えたり、感じ取ったりすることができ、相手を思いやる行動を進んで取ることができる。

4 本時の指導

（1）指導の構想

指導に当たっては、まず、事前にとったアンケート「自分にとって一番うれしいことは何でしょう」の結果を掲示する。ここでは、自分にとって一番うれしいことは、自分が喜ぶことであることを押さえ、他者を意識した思いやりの道徳的価値への動機づけとしたい。そして、今回の題材である「いちばんうれしいこと」で登場するやなせたかしさんが、アンパンマンの作者であることを紹介し、教材への動機づけもしたい。

展開前段では、やなせさんの言葉や、やなせさんが描くアンパンマンにどんな思いが込められているのかについて触れ、教師が範読を行う。戦中戦後のやなせさんの思いを考えることで、自分がつらい状況でもみんなのことを思うやなせさんの姿に気付かせたい。そして、その後に描かれたアンパンマンのマントがつぎはぎだらけであることに注目させ、このつぎはぎだらけのマントに込められたやなせさんの思いについて考える。ここでは、自己犠牲の考えに陥らないように、アンパンマンが自分にできることを進んでやっていることを押さえたい。

展開後段の中心発問では、「人は人を喜ばせることが一番うれしい」と語ったやなせさんの思いについて考え、話し合う。相手が喜ぶことが自分の喜びにもつながり、相手に親切にするという行為・行動が広がっていくことを押さえる。また、自分の喜びと他者の喜びを分けて板書することで、気持ちの重なりや広がりが見えるようにする。

終末では、導入で提示した「一番うれしいこと」が自分のことになっていたことを振り返り、授業を通して、自分の考えが「人の喜びが自分の喜び」に変容したことを感じられるようにする。

（2）準備 （教師）挿絵、ホワイトボード

(3) 学習過程

学習活動 (時間)	予想される児童の反応			※教師の支援
1 自分のうれしいを考える。 (3)	自分にとって一番うれしいことはなんでしょう			※「自分にとって一番うれしいことはなんだろう」というアンケートの結果を提示することで、今の自分にとって一番うれしいことは、自分が喜ぶことであることに気付けるようにする。
2 教材文を読む。 (4)	・おいしいものを食べたとき。 ・ほしいものを買ってもらったとき。	・習い事でうまくいったとき。 ・難しいことができたとき。	・友達と仲良くしているとき。 ・友達が優しくしてくれたとき。	
3 めあてを確認する。(1)	めあて 思いやりの心とは、どんな心のことかな			
4 戦中戦後のやなせさんの思いを考える。 (5)	せんそう中、おなかをすかせたやなせさんは、どんなことに気付いたかな			
	・おなかがすいたな。 ・みんなもおなかがすいているかな。	・おなかがすくのはつらい。みんなもつらいはず。 ・ひもじいことが一番つらい。	・おなかがすいていたら、みんなで分け合うことが大切だ。 ・つらい状況でも、相手を思いやる気持ちが大切。	※おなかが空くということをイメージすることで、辛さや悲しさに共感できるようにする。 ※「他者も自分と同じようにひもじい思いをしている」ことに気付くことができるように、「ひもじい思いをしているのは誰なのか」を押さえる。
5 アンパンマンのつぎはぎだらけのマントに込められた思いについて考える。(7)	アンパンマンのつぎはぎだらけのマントには、やなせさんのどんな思いが込められているのかな			
	・困っている人を助けてあげたい。 ・みんなのために行動したい。	・自分のことよりも困っている人を助けてたい。 ・おなかがいっぱいになっているみんなのために、パンを食べさせたい。	・自分にできることを考えながら、困っている人のために行動することが大切だ。	※「つぎはぎ」の意味を提示し、児童が言葉に「つぎはぎ」を考えられるようにする。 ※児童の考えが、自己犠牲の考えに陥らないように、「アンパンマンは、自分がポロポロなのに、人を助けていることは嫌じゃないのか」と問い返す。
6 「人は人を喜ばせることが一番うれしい」と言ったやなせさんの思いを考える。 (20)	「人は人を喜ばせることが一番うれしい」というやなせさんの思いは、どんなものなのかな			
	・アンパンマンのように親切にすることは大切なことだと思う。 ・自分の行動で、誰かが喜んでくれてよかったな。 ・人が喜んでくれた方がうれしいんだと思う。	・優しい気持ちで接することの大切さをみんなに広めたい。 ・人が喜べば、自分もうれしい。 ・友達や家族の笑顔が見られて、自分もうれしい。 ・相手が喜ぶと、自分もうれしくなるんだと思うよ。	・相手が喜んでくれると、自分もうれしくなる。 相手の気持ちと同じになる。 ・相手もこの喜びに気付いてくれて、今度は自分が誰かののためにになにかしよう、広がっていく。 ・うれしいとは、思っていると思うよ。でも、それよりも人が喜ぶことがやなせさんにとっては、うれしいことなんだと思う。	※児童の発言から、自分の喜びと相手の喜びを分けて板書することで、気持ちの重なりやその広がりが見えるようにする。 ※ペアで互いの考えを聴き合い、自分の考えと比べることで、自分の考えに自信をもったり、新たに考えをもてたりできるようにする。 ※【キーワードとなる児童の発言】 ・相手が喜ぶと、自分もうれしいな 【キーワードに対する切り返しの発言】 「やなせさん自身は、自分が喜ぶことについてうれしいと思っていないのかな」
	思いやりの心とは、どんな心のことかな			
	・相手が喜ぶことをすることだと思う。	・相手の気持ちを考えて、何かしてあげようとする心だと思う。	・相手の気持ちを考えて、相手に対して自分にできることをしようとする心だと思う。	※めあてに戻ることで、この一時間で「思いやりの心」に対する考えがどのように変容したのかについて感じれるようにする。
7 振り返り (5)	今日の授業を通して、新しく学んだことを振り返りましょう。			
	・困っている人がいたら、助けてあげたい。	・友達のことを思って生活していきたい。	・友達が困っていたら、何に困っているのかを考えて、自分にできることをしていきたい。	※導入の内容を振り返り、自分が嬉しいことが自分の喜びから、人の喜びが自分の喜びにつながることを押さえ、児童の考えが変容したことを確認する。

(4) 評価

- 相手の喜びを自分の喜びと同じように捉え、相手のことを考えて、進んで思いやりのある行動をしようという思いをもつことができたか。

(発言・ワークシート)